

パワーオプティマイザ産業用

P605 / P650 / P730 / P801 / P850 / P800 /
P950 / P1100



パワーオプティマイザ

モジュールレベルでの太陽電池出力最適化 産業用および大規模サイト用設置に、最も経済性の高いソリューション

- ソーラーエッジパワーコンディショナと連携する特別設計
- 優れた効率 (99.5%)
- ボルト一本で設置が迅速
- インストーラーおよび消防士の安全を確保するモジュールレベルの電圧シャットダウン
- システムのバランスを考えたコストの低減：ケーブル、ヒューズや接続箱を半減
- モジュールレベルモニタリングによる次世代型メンテナンス

パワーオプティマイザ産業用

P605 / P650 / P730 / P801

パワーオプティマイザ (標準的な対応モジュール)	P605 (高出力モジュール1枚付)	P650 (60セルモジュール2枚付)	P730 (72セルモジュール2枚付)	P801 (72セルモジュール2枚付)		
入力						
定格直流入力電力 ⁽¹⁾	605	650	730*	800	W	
接続方法	1対の入力(モジュールを直列接続)					
絶対最大入力電圧(最低温度でのVoc)	65	96	125		Vdc	
MPPT動作範囲	12.5 - 65	12.5 - 80	12.5 - 105		Vdc	
入力あたりの最大短絡電流(Isc)	14.1	11	11*	12.5**	Adc	
最大効率	99.5					%
実質効率	98.6					%
過電圧カテゴリー	II					
稼働時出力(ソーラーエッジ製パワーコンディショナに接続されたパワーオプティマイザ)						
最大出力電流	15					Adc
最大出力電圧	80					Vdc
非稼働時出力電圧(ソーラーエッジ製パワーコンディショナから切断またはソーラーエッジ製パワーコンディショナのオフ時)						
パワーオプティマイザごとの安全出力電圧	1 ± 0.1					Vdc
適合規格						
EMC	FCC Part 15 Class B, IEC61000-6-2, IEC61000-6-3					
安全性	IEC62109-1(クラスIIの安全性)					
RoHS	適合					
火災安全性	VDE-AR-E 2100-712:2013-05					
設置条件						
ソーラーエッジ製パワーコンディショナ	単相パワーコンディショナ、三相パワーコンディショナ					
最大許容システム電圧	1000					Vdc
寸法(幅×長さ×高さ)	129 x 153 x 52	129 x 153 x 42.5	129 x 153 x 49.5		mm	
重量(ケーブルを含む)	1064	834	933		gr	
入力コネクタ	MC4 ⁽²⁾					
入力ワイヤー長	0.9 ⁽³⁾		0.16, 0.9 ⁽³⁾		m	
出力コネクタ	MC4					
出力ワイヤー長	1.4	1.8	2.2			
動作温度範囲 ⁽⁴⁾	-40 - +85					°C
耐環境性能	IP68 / NEMA6P					
相対湿度	0 - 100					%

* 2020年の第6週以降に製造されたP730では、定格直流入力電力: 760W、入力あたりの最大短絡電流: 11.75Aとなります。

** 2020年第40週以前に製造されたP801モデルでは、1入力あたりの最大Isclは11.75Aです。

(1) STCでの定格出力がオプティマイザの“定格直流入力電力”を超えないこと。モジュールの+5%までの出力公差を許容。

(2) 他のコネクタタイプについてはソーラーエッジにお問い合わせ願います。

(3) 分離ジャンクションボックスを有するモジュールとの接続用に、P730には90 cm (P730-xxxLxxx)の長い入力ワイヤーのバージョンもございます。

(4) 周囲温度+70℃以上では、出力抑制がかかります。詳細は、「Power Optimizers Temperature De-Rating Application Note」を参照。

ソーラーエッジパワーコンディショナを使用した PVシステム設計 ⁽⁵⁾⁽⁶⁾⁽⁷⁾		SE5500H-JPJ/AC-S		SE-17.5K-JPI		SE25K-JPI*		SE33.3K-JPI4/ JPI8/SE66.6K- JPI/SE100K-JPI*		
パワーオプティマイザ		P605	P650, P730, P801	P605	P650, P730, P801	P605	P650, P730, P801	P605	P650, P730, P801	
最少ストリング長	パワーオプティマイザ	7	7	10	10	13	13	14	14	
	PVモジュール	7	13	10	19	13	25	14	27	
最大ストリング長	パワーオプティマイザ	25	25	30	30	50	30	50	30	
	PVモジュール	25	50	50	60	50	60	50	60	
ストリング毎の最大電力		5700		7350		10650		12750		W
ストリング毎の許容最大電力 (SE17.5Kはストリング間の電力差が1000W以下、SE25K/SE33.3Kはスト リング間の電力差が2000W以下の場合のみ可能)		13750		1-2ストリング: 8550 3ストリング以上: 9150		12900		15000		W
異なるストリング長と構成での入力接続		可								

* 同定格出力を持つユニットからなるシナジーテクノロジー三相パワーコンディショナにも同じ規則が適用されます

(5) P650/P730/P801は、同一ストリング内でP650/P730/P801のみ混在して使用が可能です。P605は、他のパワーオプティマイザと同一ストリングに混在させることはできません。

(6) 各ストリングにおいて、1)すべてのパワーオプティマイザが1枚のモジュールに接続されている場合、2)1台のオプティマイザだけが1枚のモジュールに接続されている場合、パワーオプティマイザを1枚のモジュールに接続することができます。

(7) ご使用条件によってはSTC出力で計算した容量以上の接続が可能になる場合もあります。デザイナーでご確認ください。

(8) 本オプティマイザは2021年第42週以降に製造されたSE5500H-JPJおよびSE5500H-AC-Sと使用することが可能です。それ以外の単相パワーコンディショナとは使用することはできません。

(9) 産業用パワーオプティマイザは10kWac未満の単相設置ではご使用になれません。

(10) 三相パワーコンディショナの最小DC容量(モジュール定格の合計)は11kWです。

パワーオプティマイザ産業用

P850 / P800 / P950 / P1100

パワーオプティマイザ (標準的な対応モジュール)	P800 (96セルモジュール2枚付)	P850 (高出力、両面受光 モジュール2枚付)	P950 (高出力、両面受光 モジュール2枚付)	P1100 (高出力、両面受光 モジュール2枚付)	
入力					
定格直流入力電力 ⁽¹⁾	800	850	950	1100	W
接続方法	2対の入力 (モジュールをそれぞれ接続)	1対の入力(モジュールを直列接続)			
絶対最大入力電圧(最低温度でのVoc)	83	125			Vdc
MPPT動作範囲	12.5 - 83	12.5 - 105			Vdc
入力あたりの最大短絡電流(Isc)	7	14.1		14.1**	Adc
最大効率	99.5				%
実質効率	98.6				%
過電圧カテゴリー	II				
稼働時出力 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナに接続されたパワーオプティマイザ)					
最大出力電流	18				Adc
最大出力電圧	80				Vdc
非稼働時出力電圧 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナから切断またはソーラーエッジ製パワーコンディショナのオフ時)					
パワーオプティマイザごとの安全出力電圧	1 ± 0.1				Vdc
適合規格					
EMC	FCC Part 15 Class B, IEC61000-6-2, IEC61000-6-3				
安全性	IEC62109-1 (クラスIIの安全性)				
RoHS	適合				
火災安全性	VDE-AR-E 2100-712:2013-05				
設置条件					
ソーラーエッジ製パワーコンディショナ	単相パワーコンディショナ、三相パワーコンディショナ				
最大許容システム電圧	1000				Vdc
寸法 (幅×長さ×高さ)	129 x 168 x 59	129 x 162 x 59			mm
重量 (ケーブルを含む)	1064				gr
入力コネクタ	MC4 ⁽²⁾				
入力ワイヤー長	0.16	0.16, 0.9, 1.3, 1.6 ⁽³⁾	0.16, 1.3, 1.6 ⁽³⁾	0.16, 1.3 ⁽³⁾	m
出力コネクタ	MC4				
出力ワイヤー長	1.8	2.2	2.4		
動作温度範囲 ⁽⁴⁾	-40 - +85				°C
耐環境性能	IP68 / NEMA6P				
相対湿度	0 - 100				%

* 2020年第6週以前に製造された850/P950は、1入力あたりの最大Iscは12.5Aです。パワーオプティマイザのシリアルナンバーをご確認ください。S/N SJ0620A-xxxxxxx (2020年第6週)

(1) STCでの定格出力がオプティマイザの“定格直流入力電力”を超えないこと。モジュールの+5%までの出力公差を許容。

(2) 他のコネクタタイプについてはソーラーエッジにお問い合わせ。

(3) 分離型ジャンクションボックスを有するモジュールとの接続用に、長い入力ワイヤーのバージョンもございます。(0.9m: P801/P850-xxxLxxx、1.3m: P850/P950/P1100-xxxXxxx、1.6m: P850/P950-xxxYxxx)

(4) 周囲温度+70°C以上では、出力抑制がかかります。詳細は、「Power Optimizers Temperature De-Rating Application Note」を参照。

(5) SE25K-JPとP1100の組み合わせの場合、SE25K-JP以降の機種でのみご使用いただけます。

/ パワーオプティマイザ産業用

P850 / P800 / P950 / P1100

ソーラーエッジパワーコンディショナを使用したPVシステム設計 ⁽⁵⁾⁽⁶⁾⁽⁷⁾		SE5500H-JPJ/AC-S	SE-17.5K-JPI	SE25K-JPI*	SE33.3K-JPI4/-JPI8/SE66.6K-JPI/SE100K-JPI*	
パワーオプティマイザ		P800, P850, P950, P1100				
最少ストリング長	パワーオプティマイザ	7	10	13	14	
	PVモジュール	13	19	25	27	
最大ストリング長	パワーオプティマイザ	25	30	30	30	
	PVモジュール	50	60	60	60	
ストリング毎の最大電力		13750	8820	12780	15300	W
ストリング毎の許容最大電力 (SE17.5Kはストリング間の電力差が1000W以下、SE25K/SE33.3Kはストリング間の電力差が2000W以下の場合のみ可能)			1 ストリング 10020	1 ストリング 15030	1-2 ストリング 17550	W
			2 ストリング以上 10620	2 ストリング以上 17780	3 ストリング以上 20300	
異なるストリング長と構成での入力接続		可				

* 同定格出力を持つユニットからなるシナジーテクノロジー三相パワーコンディショナにも同じ規則が適用されます

(5) P650/P730/P801は、同一ストリング内でP650/P730/P801とのみ混在して使用が可能です。P605は、他のパワーオプティマイザと同一ストリングに混在させることはできません。

(6) 各ストリングにおいて、1)すべてのパワーオプティマイザーが1枚のモジュールに接続されている場合、2)1台のオプティマイザだけが1枚のモジュールに接続されている場合、パワーオプティマイザーを1枚のモジュールに接続することができます。

(7) ご使用条件によってはSTC出力で計算した容量以上の接続が可能になる場合もあります。デザイナーでご確認ください。

(8) 本オプティマイザは2021年第42週以降に製造されたSE5500H-JPJおよびSE5500H AC-Sと使用することが可能です。それ以外の単相パワーコンディショナとは使用することはできません。

(9) 産業用パワーオプティマイザは10kW未満の単相設置ではご使用になれません。

(10) 三相パワーコンディショナの最小DC容量(モジュール定格の合計)は11kWです。